

I 畜産関係業務

平成25年2月に「日本経済再生に向けた緊急経済対策」、平成26年2月に「好循環実現のための経済対策」及び平成27年2月「地方への好循環拡大に向けた緊急経済対策」に基づく補正予算に係る以下の緊急対策、東日本大震災の放射性物質汚染稲わら等対策及び配合飼料価格の高騰対策として合計11事業（291億9000万円）を実施した。

○ 平成24年度補正予算に係る対策

- ・ 飼料穀物備蓄対策事業
- ・ 飼料自給力強化支援事業
- ・ 生乳需要基盤強化対策事業

※農林水産省からの要請（平成25年12月）を受け、26年度まで延長して実施。なお、飼料穀物備蓄対策事業は、農林水産省からの要請（平成27年1月）を受け、27年度まで延長。

○ 平成25年度補正予算に係る対策

- ・ 畜産収益力向上緊急支援リース事業
- ・ 国産畜産加工原料緊急確保事業

※農林水産省からの要請（平成25年12月）を受け、26年度まで実施。

○ 平成26年度補正予算に係る対策

- ・ 畜産収益力強化緊急支援事業

概要：畜産クラスター計画に位置づけられた地域の中心的な経営体（畜産農家、新規参入者、飼料生産受託組織）の収益性の向上等に必要な機械のリース整備等を支援

※農林水産省からの要請（平成27年1月）を受け、実施。